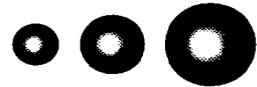


# Hand in Hand 21 Plus

ハンド・イン・ハンド 21 プラス

名取市男女共同参画情報紙

プラス2号 2004年7月



熱心に「土づくり」について、農業普及センター職員の説明を受ける「サンサンメイト」会員 16 名  
夜7時 下増田耕谷集会所にて・・・

男女共同参画社会を皆さんはどう受け止めて  
いますか

男だから 女だから と性別にこだわるのでは  
なく それぞれの個性を認め合い お互いに  
より良いパートナーとして 協力し合うこと  
それが 男女共同参画ではないでしょうか

市内の大手スーパーで、採れたて野菜の直売コーナー  
を設置している「サンサンメイト」は、農家の奥様方で  
構成された団体です。

今回編集スタッフは、毎月開いている勉強会におじゃ  
まし、お話を伺ってきました。

今回の研修内容は、「土づくり」です。  
農業後継者の生き生きとした表情を紹介します。

Q ) サンサンメイトというグループはどんなグループですか？

また、メンバーには各地区の方が入っているようですが、どんなきっかけから  
できたのですか？

A ) 農村後継者海外派遣事業「女性の翼」に参加したメンバーが、研修先で農業の実  
態を直接見て、またファームステイを体験し、刺激を受けたのが始まりです。

形は悪いが、無農薬で安心して食べられる野菜を作り販売、そんな農業にあこがれまし  
た。帰国後、この研修の成果をどのように活かせるかみんなで話し合い、何といても  
「食の安全」「地産地消」が一番という事で、産直野菜の販売を手がけることにしました。

(ファームステイは、名取市農業を考える会主催で平成元年より10年間実施)

Q ) サンサンメイトの名前の由来は？

A ) 「旬の情報館・ポパイの恋人・旬の市 愛あい」の3つのグループが一緒になった  
ので、太陽のごとくサンサンと輝き、活動できるようにと名づけました。



Q ) 「土づくり」の勉強会を開催し、収穫・販売できることは、本当に素晴らしいくらいやましいことですね。このように、エンパワメントしていく妻たちは、家に帰ってから研修の成果をどのように伝えるのですか。

また夫や家族は、この会に入ってからどのように変わりましたか。

A ) ・本日のような勉強会で得た情報を話すと、家族は聞く耳を持ってくれるし、逆に質問されたりします。また、「今度は、何を作ればいいのか」と相談されたりします。今まで考えられないことだったので、ますます意欲がわいてきます。

- ・ 今まで、農業については夫に頼りがちで、「夫は外」「妻は内」という感じでした。ところが、今では自分の外出の方が増えており、また、夜の研修会にも快く出してもらえるので、家族には本当に感謝しております。今は気の合う仲間が増え、輪が広がり、農業が楽しくてたまりません。
- ・ 出荷時には、黙っていても早朝より家族が手伝ってくれるし、我が家は『男女共同参画』を実践している感じです。
- ・ 産直野菜の販売は、企業との取引なので、常に危機感を持っています。安全な野菜を胸を張って消費者に提供できること、またそれが自分の収入にもつながることは、本当にうれしいことですね。嫁いだばかりのころは、全く考えられないことでした。自分の考えが変わったせいか、家族も明るくなったように感じています。



エコファーマー

サンサンメイト全員が、このマークの認証を  
県知事より受けています。

《 編集スタッフ 》

名取市男女共同参画推進委員会 広報啓発部

泉 勝・相澤喜美・洞口ミツヨ

小林和子・鈴木英夫・洞口のり子

〒981 - 1292 名取市総務部 企画課 女性市民参画係

384 - 2111 (内線 336) FAX 384 - 9030

#### 用語解説

##### ファームステイ

外国の農場・牧場に数日間宿泊し、  
農場生活を体験する、民宿の一種。

##### 地産地消

「地域生産地域消費」を略した言葉。

##### エンパワメント

「女性が力をつけること」をいう。



いっしょに勉強会に参加した編集スタッフ